



## 平成29年8月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

## ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	58,013,858 万円	100.0%	101.7% (101.5%)	55,998,759 万円	99.8% (100.0%)
食 料 品	49,289,257 万円	85.0% (84.1%)	101.6% (101.6%)	47,808,042 万円	99.9% (100.2%)
農 産	7,347,559 万円	12.7% (11.9%)	99.6% (98.1%)	7,105,200 万円	97.9% (96.7%)
水 産	4,507,780 万円	7.8% (7.9%)	101.0% (97.8%)	4,378,790 万円	99.0% (96.2%)
畜 産	5,969,644 万円	10.3% (10.2%)	104.8% (104.0%)	5,773,987 万円	102.7% (102.0%)
惣 菜	6,082,411 万円	10.5% (9.9%)	102.3% (103.0%)	5,864,854 万円	100.3% (101.1%)
日配食品	10,990,286 万円	18.9% (19.2%)	101.3% (102.3%)	10,692,233 万円	99.8% (100.9%)
加工食品	14,391,577 万円	24.8% (25.0%)	101.5% (102.3%)	13,992,978 万円	100.0% (101.5%)
生活関連	3,850,366 万円	6.6% (6.7%)	101.7% (100.7%)	3,749,644 万円	100.6% (100.2%)
衣 料 品	1,530,268 万円	2.6% (3.2%)	99.3% (100.1%)	1,469,501 万円	97.9% (98.7%)
そ の 他	3,343,969 万円	5.8% (6.0%)	104.1% (103.0%)	2,971,572 万円	97.9% (97.4%)

## ② 数 値

全店総売上高	58,013,858 万円	店 舗 数	4,620 店舗
総売場面積	9,262,451.2 m <sup>2</sup>	総従業員数	251,435 人

店舗平均月商	12,557.1 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,898.6 円 (101.1%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.3 万円 (6.2 万円)	平均店舗面積	2,004.9 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.7 万円 (20.5 万円)	パート比率(前月)	78.2% (77.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 8月の天候環境について、平均気温は沖縄・奄美でかなり高く、西日本で高かった。日照時間は、北・東日本太平洋側では曇りや雨の日が多かったためかなり少なく、北・東日本日本海側で少なかった。降水量は東日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側が多かった
- ・ 生鮮品の相場状況は、安値傾向が続いた野菜が、長雨などの天候不順の影響により土物・根菜以外が高値に転じ、果実は、旬の「なし」や「ぶどう」が生育の遅れにより相場が高かった。一方「バナナ」や「パイナップル」などの輸入果実は相場が低かった。畜産物では、国産の豚肉と鶏むね肉の高値傾向が続いている
- ・ 前年と比べ、木曜日が1日多く、月曜日が1日少ない曜日廻りだった

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 「トマト」「きゅうり」などのサラダ野菜が天候不順による相場高のため売上は好調であったほか、「とうもろこし」や「アスパラガス」が好調であった
- ・ 平年より気温が低かった地域では「菌茸」が好調であった
- ・ 「枝豆」や「薬味野菜」は天候不順により不調であった
- ・ 「たまねぎ」「にんじん」「じゃがいも」は安値による売上の減少が続いている
- ・ シーズン当初出荷が遅れた「桃」が好調な一方、生育遅れにより「梨」が不調、「ぶどう」は品種により好不調が分かれた
- ・ 簡便の「カット野菜」やスイカを中心とした「カットフルーツ」の好調が続いている

### ○ 水産

- ・ 本年は土用の二の丑があったため「うなぎ」が好調であった
- ・ 「サンマ」は小ぶりも水揚げ不足による相場高のため、売上は好調であった
- ・ 「まぐろ」「魚卵」が好調、「えび・かに」「貝・海藻」が不調とのコメントが多く見られた
- ・ アニサキス報道の影響による売上減に関するコメントは少なかった

### ○ 畜産

- ・ 牛肉・豚肉・鶏肉・挽肉・加工肉ともに概ね好調であった
- ・ 牛肉・加工肉は「焼肉・バーベキュー」用途の動向が良かった
- ・ 豚肉は「冷しゃぶ」用途の動向が概ね良かった

### ○ 惣菜

- ・ 夏休みランチニーズとして「お弁当」「どんぶり」「調理めん」が好調であった
- ・ おつまみ需要として「揚げ物」「から揚げ」が好調であった
- ・ O-157報道の影響により、ポテトサラダや冷惣菜が不調だったとのコメントが見られた

### ○ 日配・加工食品

- ・ 天候不順の影響により「アイス」「飲料」「ビール」「チルド麺」「乾麺」が不調だった一方、例年夏場に指数が下がる「こんにゃく」「練製品」や「パン」と関連品の「バター・チーズ」、さらに「チョコレート」「スナック菓子」に動向が見られた
- ・ 「米」とご飯まわりの「缶詰・瓶詰」、さらに「海産乾物」「農産乾物」が好調であった
- ・ おつまみ需要としての「豆菓子」「珍味」が好調であった

### ○ サマーギフト、お盆の動向について

- ・ ギフトの商品動向において、生鮮ギフトは概ね好調も、非食品は不調であった
- ・ 盆商戦は「山の日」を含む前半は好調であったが、中盤から後半にかけては不調とのコメントが多く見られ、全体的に前倒し傾向であった
- ・ おもてなしのごちそうメニューとして「寿司」「刺身」「オードブル」「天ぷらの盛合せ」の訴求が多く、実績は概ね良好であった

以 上